

# その他診療を支える機能-1

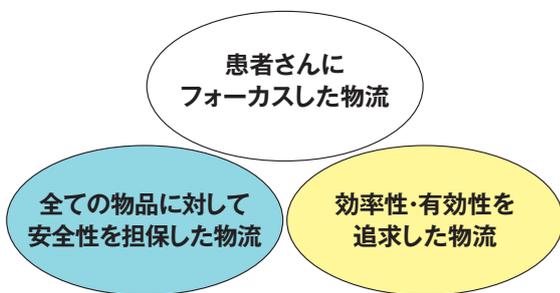
## SPD手法を取り入れ、患者さんの安全性、診療の効率性・有効性を追求した物流管理。

※SPD=Supply (供給) Processing (加工) & Distribution (分配)。医療機関で消費される物品および情報を統合的に管理する物流手法。

### 物流拠点の構築と総物流システムの導入

#### 総物流システムの基本コンセプト

- 患者さんの安心・安全を担保しつつ、高度化・高回転化した診療業務を効率的に支えることを目標に院内総物流システムを構築しました。



#### 小荷物専用昇降機／気送管

- 2階輸血センターには、小荷物専用昇降機を設置。各集中治療室、手術室、分娩室などへ最短距離で血液製剤を搬送できます。
- 気送管の設置で、検体・書類などのタイムリーな搬送と搬送の効率化を図ります。

#### 特徴

- 地下1階に総物流センター、薬剤部、中央材料部、臨床工学部を集約し、SPDホールを設置しました。SPDホールから貨物混載便として一括搬送することで、カテゴリ毎の配送による無駄を排除し、搬送の効率化を図ります。オーダーエントリー、将来的にはクリティカルパスに基づき、物品カテゴリを超えた患者さん毎、手技毎のセット化と診療・治療タイミングに即した供給を実現します。
- 物流スタッフによる人手搬送と物流の一元化により、職員が本来業務に専念できる環境を作りました。
- 物品の定数配置により、看護師の在庫管理業務を減らし、看護師業務の負担軽減と本来業務への特化を図ります。
- 物流システムと医療情報システム(HIS)が連携して、物流物品を一元的に把握・管理し、正確で効率的な業務(在庫管理、診療報酬請求等)を行います。また、発注・検品・棚卸などの物流業務の効率化も行います。
- 患者さん・手技に紐付けした無駄のないセット化材料を準備・搬送し、混合病棟での安全性担保や看護師等の業務負担を軽減します。
- 医療材料については、消化払い方式(業者在庫)を採用し、不良在庫を防止します。

#### 物流の一元管理



#### 総物流システムの流れ

